

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年2月12日（水）

2 確認箇所

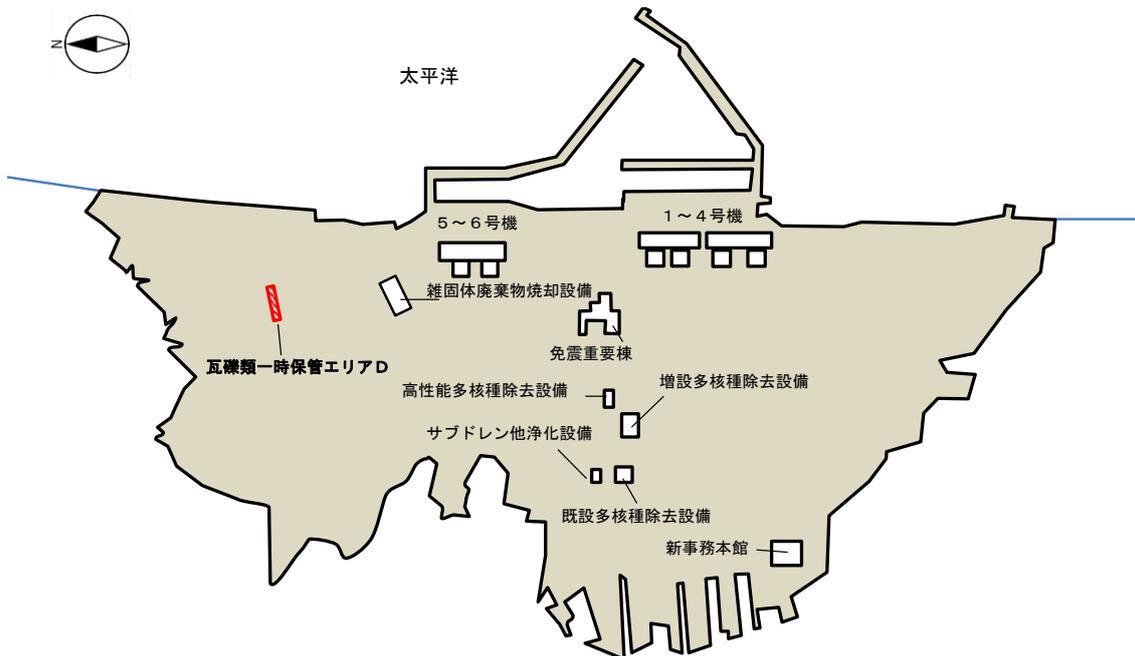
瓦礫類一時保管エリアD及び仮設集積場所（図1）

3 確認項目

- (1) 瓦礫類一時保管エリアDにおける廃棄物の保管状況
- (2) 瓦礫類一時保管エリアDに隣接する仮設集積場所における廃棄物管理及び運用状況

4 確認結果の概要

- (1) 瓦礫類一時保管エリアDにおける廃棄物の保管状況
耐候性のあるシート（以下、「本設シート」という。）による養生の対象となっている瓦礫類一時保管エリアDにおける廃棄物の保管管理状況について確認を行った。（前回確認：平成29年11月1日）
 - ・ エリア内は単管ガードパイプと隣接するジャバラハウスの周囲を囲う金属フェンスによって区画されていた。（写真1）
 - ・ エリア内は、本設シートにより養生された状態で管理されており、瓦礫類など廃棄物の飛散・流出は見られなかった。（写真2）
- (2) 瓦礫類一時保管エリアDに隣接する仮設集積場所における廃棄物管理及び運用状況
東京電力では、瓦礫類一時保管エリアの整理作業にあたり、一時的に廃棄物を受入れするための仮設集積場所を設定・運用しているが、令和3年に発生した瓦礫類一時保管エリアに保管されていた収納容器からの放射性物質の漏えいなどのトラブル対策（外観目視点検、内容物確認等）を優先的に取り組んだため整理作業が停滞し、仮設集積場所への廃棄物受入量の増加及び長期化した経緯がある。このことから、その状況を改善し廃棄物管理の適正化を図るため、瓦礫類一時保管エリアの増設等により多くの仮設集積場所の解消を図った。当該仮設集積場所は、廃棄物仕分けのために現在も使用を継続していることから、その運用状況を確認した。（前回確認：令和4年6月21日（仮設集積場所⑤））
 - ・ 目視で確認した範囲においては、積まれた1m³コンテナのずれや破損、内容物の流出等の異常はみられなかった。（写真3）
 - ・ 廃棄物の仕分け作業及びコンテナへの詰め替え、運搬作業は、手順書に従って行われており、適正な管理運用がされていた。（写真4）



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1 - 1)
瓦礫類一時保管エリアDの外観

フェンス奥は、廃棄物の仕分け
を行うジャバラハウス



(写真 1 - 2)
瓦礫類一時保管エリアDの入口付近
の標示状況

関係者以外立入禁止表示
必要装備ガイド及び
空間放射線量測定結果



(写真2)
瓦礫類一時保管エリアD北側の1m³コンテナの保管状況



(写真3-1)
隣接する可燃・難燃物受付エリアにおける1m³コンテナの保管状況①



(写真3-2)
隣接する可燃・難燃物受付エリアにおける1m³コンテナの保管状況②



(写真4)
同エリア内における1m³コンテナの運搬作業の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。